

選挙に行ってくるし変えよう

8時間働けばどうに暮らせる社会に！

7月21日(日)投票で日本の進路を決める参議院選挙が激しくたたかわれています。

私たちのくらしと未来にとって極めて重要な選挙

今回の選挙、働き方、くらしを変えるチャンスです。憲法守れ、消費税増税ストップ、辺野古新基地建設反対、最低賃金引き上げ、長時間労働をなくそう、労働者の差別的取り扱い止める、セクハラやパワハラを止めて、高額な学費を下げさせ奨学金の拡充を、年金引き下げを止めて安心して生活の出来る年金を、医療介護の充実など、わたしたちのくらしと未来にとってこれまで以上に大切な選挙です。

安倍政治の6年間は、「賃金は増えず、富裕層だけを優遇」

安倍自公政権の6年間は、「景気が良くなった」と自画自賛していますが、賃

金は伸びず、税や社会保険料負担が大幅に増えていきます。強いものや富裕層だけが恩恵を受ける政治はもう辞めてもらいたいものです。北九州地区労連は、この選挙を「ひとり一人の一票が政治を変え、生活の改善につながる」チャンスとして、すべての組合員のみならず、みなさんが真剣に考え、棄権しないで投票に行き安倍政権NO!の意志を表明しましょう。

チェンジ!

- 消費税引き上げの中止
- 最低賃金は全国一律に時間給すく千円、さらに1500円へ
- 年金に最低保障をマクロスライド方式廃止
- 国の責任で保険料引下げ受けられる医療介護に
- 大学・高校の授業料引下げ 給付型奨学金拡充
- 保育士の待遇改善 国の責任で

労働組合が求める政策

今の政治は

- 消費税10月から10%に引き上げ
- 非正規雇用で暮らせない賃金の拡大
- 物価が上がっても年金は低いま
- 医療介護保険料負担増 給付も削減
- 大学・専門校の学費高い 奨学金の返済キツイ
- 保育園入れない



全労連の参院選方針

今回の参議院選挙は、安倍首相に9条改憲を断念させるとともに、雇用と暮らし改善の切実な要求を前進させる展望を切り開き、安倍政権によって壊され続けている民主主義を労働者、市民の手にとりもどすために、極めて重要な選挙です。全労連の参議院選挙闘争方針(以下、選挙方針)は、そのような要求実現の立場で論議し、練り上げてきたものです。

無所属候補の支持も

全労連はこれまで、党派間の争いとなる国政選挙では、労働組合として、政党支持の自由を保障すべきとの原則に基づき、特定の政党や候補者を支援して来ませんでした。しかし、今度の参院選挙では、5月29日に市民連合と立憲野党4党、1会派の間で政策協定が合意され32の一人区で立憲野党の候補者統一が行なわれたことを受け、「従来の延長線上でない攻めの選挙」を展開する方針が提起されています。

北九州地区労連は全労連方針を支持し、参議院選挙に全力をあげます

平和と憲法の課題にとどめず、暮らしや景気回復、雇用ルールでの要求も積極的に掲げて選挙戦を展開していきます。戦争法廃止を軸に職場・地域宣伝を行い、世論喚起と投票率アップをめざしていきます。北九州地区労連は、「ひとり一人の一票が政治を変え、生活の改善につながる」チャンスとしてとらえ、参議院選挙闘争に参加することを呼びかけます

10人にトライ!!



誰でもできる 声かけ活動

